所管課 都市づくり部公園河川課 まちづくりの目標(章) 施策分野(節) 第1章 02 公園・緑地 02 緑を保全し増やす മ 環境調和都市 事業: 緑地整備事業 0250 番点 市街地における自然や緑が減少している状況のなかで、残された貴重な樹林地の保全と活用を図り、都市緑地の修景 整備を実施する。 的 美加の台第10緑地の一部を住民と協働で植栽することにより、他の公園・緑地での協働での整備を促進する。 Ħ 標 25.008 総 妥当性 総コスト (千円) Α 事業費(決算額)(千円) 1,500 В 事業費 1.500 効率性 Α 1.500 -般財源 費 財 人件費 4.041 有効性 0 源 国府支出金 緑地の保全と活用を図ることを目的に市 民協働を行い、整備を行った。 報 19.467 公債費 財 0 地方債 訳 価 一人あたり(円) 224 評 理 価 その他特定財源 0 世帯あたり(円) 529 由 公園、緑地の整備については、市民協働はよく馴染む 根 施策に対する В 献 事業貢献度 度 対象地が広く、また、長期に渡って整備・植栽・管理を行う必要があることから、担い手である地元住民の多数の参加を 後 要請していく。 の 方向 14

#### 事業 優先順位 細事業:緑地整備事業 02 市街地における自然や緑が減少している状況のなかで、緑地の保全と整備を促進する。 目 的 協働事業提案制度に採択された美加の台第10緑地の植栽事業を実施し、他の公園・緑地のモデルとする。 目 標 事業開始 年 度 事業 実施主体 協働•委託 昭和57年度以前 平成25年度 平成24年度 比 較 平成25年度 平成24年度 比較 コス 25,008 24,344 総コスト 664 事業費(決算額)(千円) 1,500 1,500 0 (千円) 1,500 1,500 0 事業費 1,500 1,500 -般財源 4,041 3,174 867 人件費 業費 0 0 0 報 国府支出金 財 19,467 19,670 -203 公債費 0 0 0 源地方債 従 (円) 224 216 8 一人あたり 財 事 訳その他特定財源 0 0 0 源 世帯あたり (円) 529 516 13 職 0 0.53 0.40 職員数 0.13 数 考 再任用職員数 (人) 0.00 0.00 0.00 対象地が広く、また、長期に渡って整備・植栽・管理を行う必要があることから、担い手である地元住民の多数の参加を 要請していく。 の方向 性 緑地近隣住民、自治会等 評 対象者 妥当性 効率性 有効性 В Α 価

# 事業: 緑地整備事業

### 1. 美加の台第10緑地整備事業

美加の台第10緑地は、13. 87ha を有し、寺ケ池公園よりも広く本市都市緑地でも最大面積を誇る。また、同団地のほぼ中央に位置し、遠く神戸六甲山までの眺望が望め、緑豊かな同団地のシンボルとなっていたが、当初開発者により植栽されたマツがマツクイムシにより全滅し、緑地機能が低下しているのが現状である。

このような状況の中、地元での植栽の機運が高まり、<u>協働事業提案制度</u>\*に応募され採択されたものであり、地元の連合自治会傘下の植樹実行委員会が中心となって平成24年度から美加の台自治会連合会、森林ボランティアトモロス、大阪府森林組合南河内支店、(公財)河内長野市公園緑化協会、河内長野市の5者の協働事業として植栽事業を実施した。



#### ※ 協働事業提案制度

…市民公益活動の専門性や柔軟性等を活かした事業の提案を公募し、市民と市が協働することで、地域や 社会の課題の効果的・効率的な解決を図るとともに、市行政への住民参加の促進を図り、暮らしやすい 地域社会を実現していくための制度。

# 細事業:緑地整備事業

### 1. 委託の内訳

(1) 美加の台第10緑地整備業務

項目	金	額(円)	備	考
講習会用資材		20, 000		
階段制作用資材		38, 000		
階段用資材		74, 000		
苗木		195, 000		
雑木間伐業務一式		1, 260, 000		
事務経費		15, 000		
合 計		1, 602, 000		

※委託料超分は(公財)河内長野市公園緑化協会負担

#### 2. 事業の経過

美加の台第10緑地整備事業の実施については、参画している5者による会議(5者会議)を8回開催し、植栽計画の協議を行い、平成25年度においてはアジサイやツツジの植栽を実施した。また、斜面での作業を安全に実施するための階段を設置した。